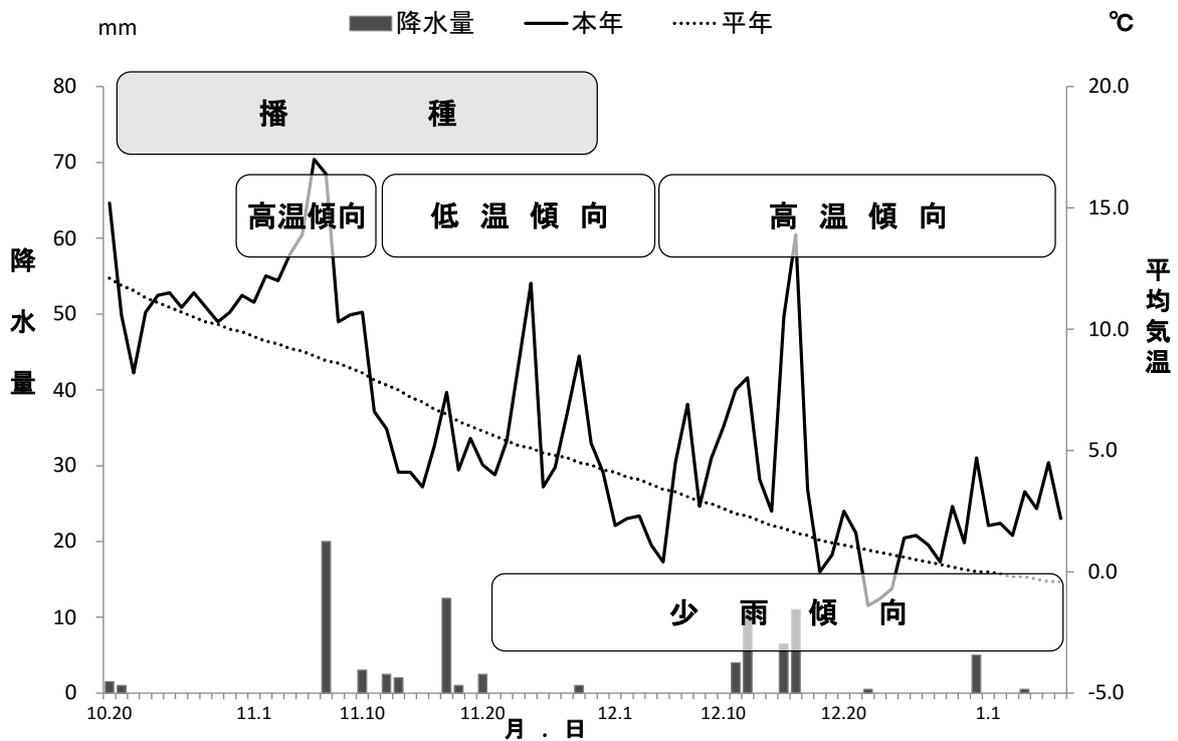


令和6年 作物技術情報第1号

(麦の越冬前生育状況について)

1 気象状況

令和5～6年 気象経過(穂高アメダス 10月20日～1月7日)



- ・ 11月上旬は高温でしたが、11月中～12月初旬は低温傾向で推移しました。12月初旬以降は高温で推移しています。
- ・ 11月下旬以降は少雨傾向が続いています

2 麦の生育状況

【麦の播種状況】

- ・ 水田後麦の播種は10月20日頃から開始され、11月上旬で概ね終了しました
- ・ 大豆後麦の播種は11月10日頃から開始されました。大豆の落葉が遅れている圃場で播種作業はやや遅れましたが、11月末には概ね終了しました。
- ・ 播種後はやや低温傾向でしたが、降雨による湿害も少なく、麦の出芽や初期生育は順調でした。ただし播種が極端に遅れた圃場や、播種深度が深い圃場では、出芽が遅れている圃場もあります。
- ・ また10月下旬播種の大麦では、生育が過剰で葉の黄化が目立つ圃場もあります。

【越冬前の生育状況】

- ・ 12月下旬における、管内の麦の生育状況は概ね以下のとおりです。

【 越冬前（12月下旬）の生育状況】

播種日	葉令	分けつ	生育
10月下旬	4～5葉	2	過剰～やや過剰
11月上旬	3～4葉	1	並
11月中旬	2～3葉		やや少
11月下旬	出芽始～1.5葉		少

- ・ 播種時期により生育差がありますが、大麦は3～4葉（分けつ2本前後）、小麦は3葉前後（分けつ1本前後）の圃場が多いと思われます。高温傾向が続いているため早期播種の圃場では生育が過剰になることが心配されます。
- ・ 2月末より1回目の追肥作業が開始されると思われますが、追肥時期・追肥量は越冬後の生育状況で左右されますので、今後の生育・気象状況に注意が必要です。
- ・ 2月上旬に越冬後の生育調査を実施します。調査結果は次回の技術情報でお伝えしますので、生育状況にあった追肥をお願いします。